



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
 コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 寺田 健志
 問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員管理本部長(氏名) 植田 祥裕 (TEL) 06-6110-1560
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	26,736	2.2	2,649	7.6	2,821	△2.3	1,693	△18.0
2019年3月期第1四半期	26,160	10.7	2,461	61.1	2,887	59.1	2,065	68.4

(注) 包括利益2020年3月期第1四半期 1,415百万円(△13.9%) 2019年3月期第1四半期 1,644百万円(△23.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	73.02	63.56
2019年3月期第1四半期	91.44	76.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	110,529	65,565	59.3
2019年3月期	112,661	64,548	57.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 65,565百万円 2019年3月期 64,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	32.50	—	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	△3.2	4,400	1.9	4,700	△4.2	3,100	△7.6	134.26
通期	105,000	△2.7	9,600	1.2	10,200	1.5	6,800	0.1	294.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	26,272,370株	2019年3月期	26,090,580株
2020年3月期1Q	3,002,016株	2019年3月期	3,001,554株
2020年3月期1Q	23,191,445株	2019年3月期1Q	22,583,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しているものの、米中貿易摩擦や中国経済の減速などにより、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、新中期経営計画「BRIGHT-2020」の2年目を迎え、引き続き、「新成長エンジンの創出」、「海外収益基盤の確立」および「事業構造改革の完遂」の3つの基本方針に基づき、それぞれについて具体的な施策をさらに進めました。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、267億3千6百万円と前年同期比2.2%の増加となりました。また、利益面におきましては、営業利益は26億4千9百万円と前年同期比7.6%の増加、経常利益は28億2千1百万円と為替差損益の影響もあり前年同期比2.3%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億9千3百万円と投資有価証券評価損計上等の影響により前年同期比18.0%の減少となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<基礎化学品>

クロール・アルカリは、半導体・電子材料向け等需要の低下があり、売上高が減少しました。エピクロロヒドリンは、国内向けが堅調に推移するとともに、海外向けも中国の環境・安全規制強化の影響により販売数量が増加したため、売上高が増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は122億3千3百万円と前年同期比0.7%の増加となりました。

<機能化学品>

アリルエーテル類は、中国のシランカップリング剤用途向けで販売数量が伸び、売上高が増加しました。ダップ樹脂は、国内および欧州のUVインキ用途向け販売に加え、中国のホットスタンピング用途向け販売が順調に推移したため、売上高が増加しました。合成ゴム関連につきましては、エピクロロヒドリンゴムは中国の自動車生産台数減少の影響を受けましたが、アクリルゴムは新規顧客での採用が進んだことに加え、新規用途開発に注力し市場での採用がより一層拡大しました。

医薬品精製材料は、欧州並びに米国向けのペプチド医薬品精製用途向けが好調に推移したことに加え、液体クロマトグラフィー用カラム・分析装置事業では、国内および韓国向けが好調に推移しました。医薬品原薬・中間体は、国内向け感染症治療薬中間体の販売、海外向け血管拡張剤中間体の販売およびジェネリック医薬品原薬の輸入販売が拡大したことに加え、高薬理活性設備を用いたジェネリック医薬品原薬の提供も順調に進みました。

一方で、カラーレジスト等液晶関連は、中国での液晶パネル向け販売数量が減少したため、売上高は減少しました。グラスファイバーは、国内の電子材料向け販売数量が減少したため、売上高は減少しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は102億2千8百万円と前年同期比0.7%の減少となりました。

<住宅設備ほか>

生活関連商品の販売が好調に推移したため、住宅設備ほかの売上高は42億7千4百万円と前年同期比14.9%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1.6%減少し671億3千8百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が13億9千9百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、2.4%減少し433億9千万円となりました。これは、主として投資有価証券が7億6千8百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1.9%減少し1,105億2千9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、8.8%減少し293億7千4百万円となりました。これは、主として未払法人税等が18億9千4百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、2.0%減少し155億9千万円となりました。これは、主として役員退職慰労引当金が4億2千6百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、6.5%減少し449億6千4百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、1.6%増加し655億6千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、2019年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,876	11,006
受取手形及び売掛金	29,268	27,869
電子記録債権	3,508	4,128
有価証券	12,499	12,499
商品及び製品	7,050	7,284
仕掛品	1,643	1,746
原材料及び貯蔵品	1,827	1,902
その他	685	842
貸倒引当金	△140	△141
流動資産合計	68,219	67,138
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	10,442	10,185
その他(純額)	11,520	11,755
有形固定資産合計	21,962	21,940
無形固定資産		
のれん	864	818
その他	474	444
無形固定資産合計	1,338	1,262
投資その他の資産		
投資有価証券	19,642	18,874
繰延税金資産	442	299
その他	1,062	1,019
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	21,141	20,187
固定資産合計	44,442	43,390
資産合計	112,661	110,529

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,586	15,318
短期借入金	7,767	7,767
未払法人税等	2,280	386
賞与引当金	889	451
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,464	1,053
その他	4,211	4,398
流動負債合計	32,197	29,374
固定負債		
新株予約権付社債	10,000	10,000
繰延税金負債	1,094	1,217
役員退職慰労引当金	651	225
退職給付に係る負債	3,009	3,003
その他	1,160	1,143
固定負債合計	15,915	15,590
負債合計	48,113	44,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,150	15,355
資本剰余金	13,667	13,872
利益剰余金	36,942	37,828
自己株式	△6,679	△6,680
株主資本合計	59,080	60,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,781	5,497
繰延ヘッジ損益	1	△5
為替換算調整勘定	11	15
退職給付に係る調整累計額	△327	△318
その他の包括利益累計額合計	5,467	5,189
純資産合計	64,548	65,565
負債純資産合計	112,661	110,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	26,160	26,736
売上原価	20,458	20,939
売上総利益	5,701	5,797
販売費及び一般管理費	3,239	3,147
営業利益	2,461	2,649
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	227	239
持分法による投資利益	10	11
為替差益	183	—
その他	43	14
営業外収益合計	468	268
営業外費用		
支払利息	27	24
為替差損	—	64
その他	14	8
営業外費用合計	42	96
経常利益	2,887	2,821
特別利益		
固定資産売却益	137	—
特別利益合計	137	—
特別損失		
固定資産除却損	95	25
投資有価証券評価損	—	363
その他	—	2
特別損失合計	95	391
税金等調整前四半期純利益	2,930	2,430
法人税、住民税及び事業税	756	345
法人税等調整額	108	391
法人税等合計	864	737
四半期純利益	2,065	1,693
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,065	1,693

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,065	1,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△460	△283
繰延ヘッジ損益	57	△6
為替換算調整勘定	△24	3
退職給付に係る調整額	8	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△420	△277
四半期包括利益	1,644	1,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,644	1,415
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	12,142	10,297	3,720	26,160	—	26,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	22	143	171	△171	—
計	12,146	10,320	3,863	26,331	△171	26,160
セグメント利益	1,444	1,235	42	2,721	△259	2,461

(注) 1 セグメント利益の調整額△259百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	12,233	10,228	4,274	26,736	—	26,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	25	231	266	△266	—
計	12,242	10,254	4,506	27,003	△266	26,736
セグメント利益	1,374	1,407	160	2,942	△292	2,649

(注) 1 セグメント利益の調整額△292百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。